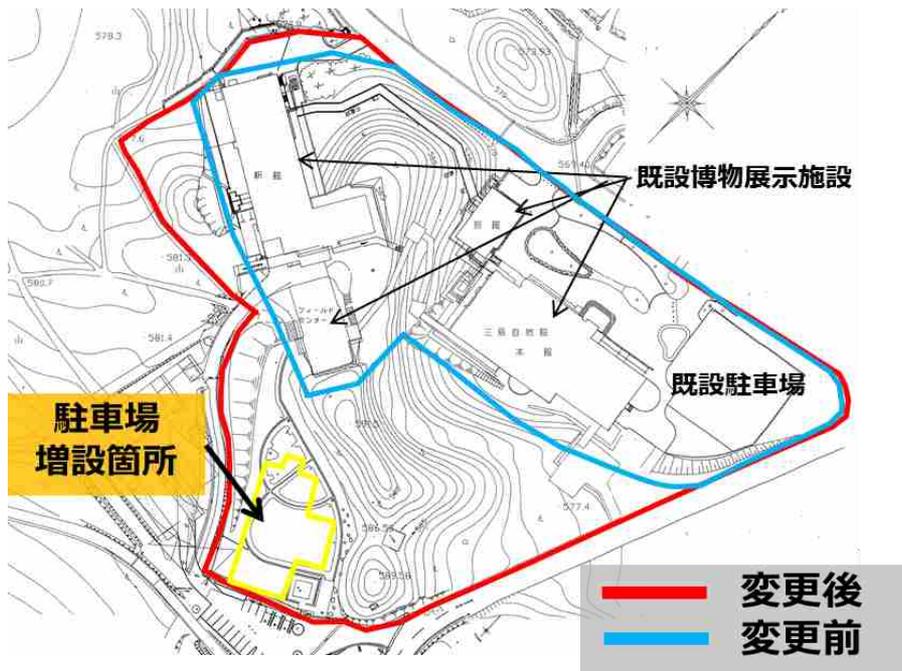


駐車場の増設

区域面積：1.2ha→2.6ha

駐車場規模が小さくシーズン時には満車となり利用に支障が生じているため、駐車場の拡充を行う（現在47台、増設34台）。あわせて、これまで博物展示施設と一体的に管理されてきた区域について、把握するもの。



自然環境への影響

- 駐車場の増設は既に整備が入っている場所に再整備するものであり、自然林の樹木の伐採は生じない。
- 土地の形状変更は、駐車場の利用の快適性を確保するために必要な整地に留め、既存整備箇所外での新たな地形の改変は行わない。

奄美群島国立公園

湯湾新村線道路（車道）

決定

路線距離：8.1km

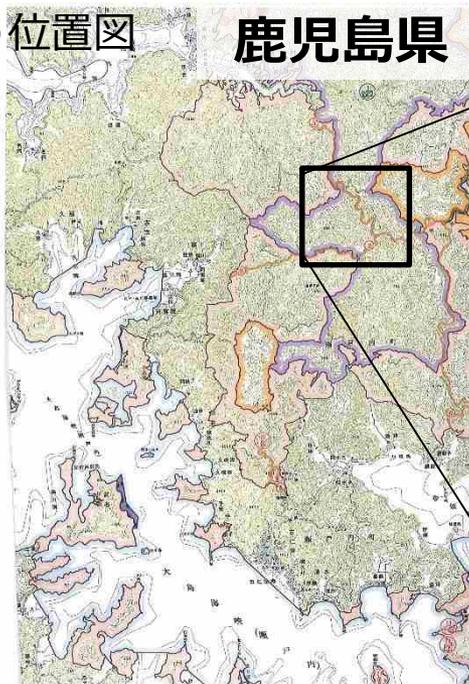
有効幅員：6.0m

執行者：環境省、鹿児島県（予定）

第1種特別地域、第2種特別地域（県有地）

●位置図

鹿児島県

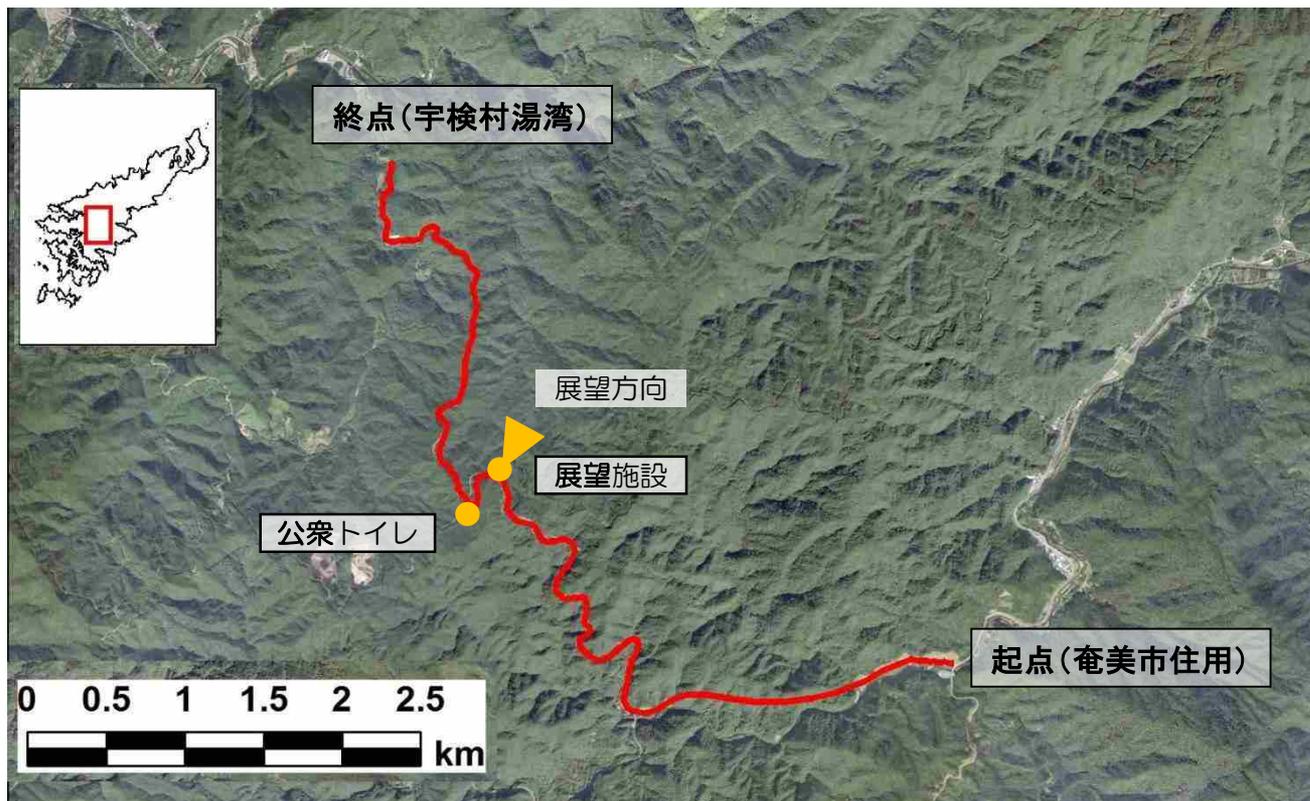


●公園計画図



- 大島地域の北西部に位置し、奄美市住用町の国道58号線分岐を起点とし、大島郡宇検村の湯湾へ至る車道である。
- 車道は、役勝川上流の高齢照葉樹林が混じる若齢林を主体とする地区にあり、アマミノクロウサギ、ケナガネズミ等の固有種が生息し、保護の重要性の高い地域を通過する。
- 車道の中間点には、展望施設が設けられ、湯湾岳等の照葉樹林を望むことができる。

湯湾新村線道路（車道）



車道（県道85号）



道路沿いの展望施設

事業規模 路線距離：8.1km 有効幅員：6.0m

- 当該車道は本国立公園を周遊するための利用上重要な路線である。
- 鹿児島県が県道85号湯湾新村線として整備しており、既存の施設を把握するもの。



公衆トイレと駐車場

既存施設の把握

執行者：環境省、
鹿児島県（予定）

- 鹿児島県が県道85号湯湾新村線として整備している。



起点(奄美市住用)付近



起点から約2km地点
(役勝トンネル)



起点から約5km地点

- 環境省が展望施設の一角に標識を整備している。



自然環境への影響

- 現時点では現況施設を把握するのみで自然環境への影響はない。今後、道路改修を実施する際には、改変面積や支障木の伐採を必要最小限とし、周囲の自然環境に風致上支障のないよう配慮した手法で実施する。

奄美群島国立公園 奄美自然観察の森線道路（車道）

決定

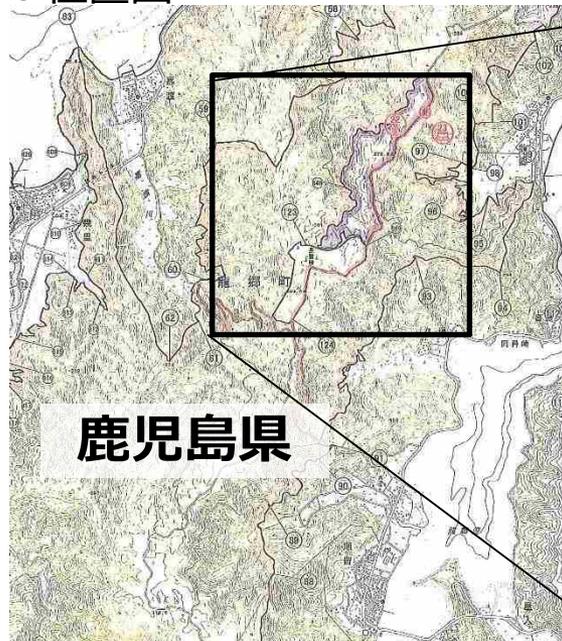
路線距離：6.8 km

有効幅員：①～②5.5m ③～④6.0 m

執行予定者：環境省、龍郷町

第2種特別地域（公有地（龍郷町））

●位置図

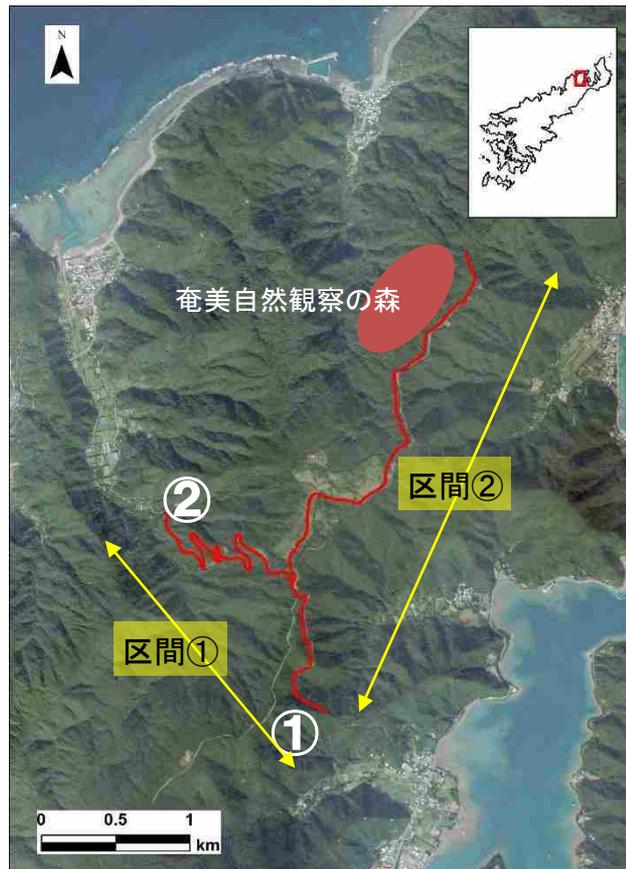


●公園計画図



- 当該車道は奄美群島国立公園大島地域の南東部に位置し、龍郷町瀬留及び嘉渡の国立公園境界を始点とし、長雲峠を経て自然観察の森へ至る車道である。
- 当該車道は、奄美自然観察の森を中心とした地区で、奄美大島北部におけるアマミノクロウサギやルリカケス、アマミイシカワガエル等の重要な生息地となっている。

決定区域図



- 奄美自然観察の森へのアクセスルートとして、龍郷町により道路が整備されており、既存の施設を公園事業として把握する。



奄美自然観察の森線道路
（瀬留入口）



奄美自然観察の森線道路
（嘉渡入口）

事業決定規模

路線距離：6.8km

有効幅員：区間①6.0m 区間②5.5m

- 当該車道は主に利用・探勝拠点である奄美自然観察の森へ続くアクセスルートとして利用されている。
- 当該車道が接続する奄美自然観察の森は、自然観察や風景探勝の利用拠点として、探勝路、展望台、休憩所やトイレ等が整備されており、近年は個人利用者の他、団体利用者による利用も増加していることから、本国立公園の利用上重要な路線である。

既存施設の把握（道路、標識）

- ・ 龍郷町により有効幅員5.5～6.0mの町道が整備がされている。



① 起点(嘉渡)から約1.0km地点



② 起点(瀬留)から約1.2km地点



③ 奄美自然観察の森線(終点)

- ・ 環境省が国立公園の標識を整備している。



国立公園標識(久場(終点))



撮影位置

自然環境への影響

- 既に整備されている道路を把握するものであり、再整備を行うものではない。

奄美群島国立公園 宮古崎線道路（歩道）

決定

路線距離：2.4 km

執行者：大和村

第3種特別地域（公有地（大和村））

●位置図



●公園計画図



笹原が広がる宮古崎



宮古崎からの景観

- 奄美大島地域北西部の宮古崎に位置し、大和村役場から県道を北西方向に進み、5km程進んだところにある。
- 事業地は、ササ原やタイワンヤマツツジが特徴となっているほか、海岸断崖植生も見られる地区で、当該公園のなかでも特異な景観を有している。岬の先端はササ原で展望が良く、海域公園地区のある摺子崎が遠展望できるほか、珊瑚礁が広がる思勝湾が展望できる。

事業規模

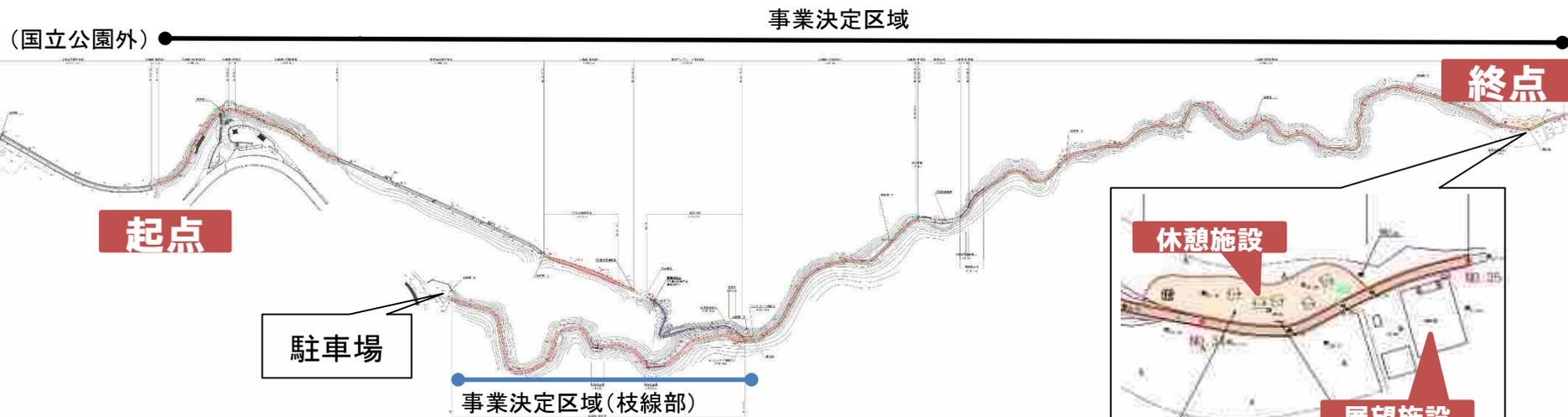
路線距離：2.4 km



- 事業地周辺の主な利用形態は、国直海岸から宮古崎に至る海岸歩道の自然探勝及びササ原となっている宮古崎から望む海岸景観の風景鑑賞であり、利用者は年間1,000人程度である。
- 既に整備されている歩道の区間を決定するものである。

既存施設の把握（歩道、展望施設等）

執行者：大和村



遊歩道



展望施設



休憩施設(テーブル・ベンチ)

自然環境への影響

- 既に整備されている歩道を把握するものであり、新たな工事は行われない。

奄美群島国立公園 湯湾岳登山線道路（歩道）

決定

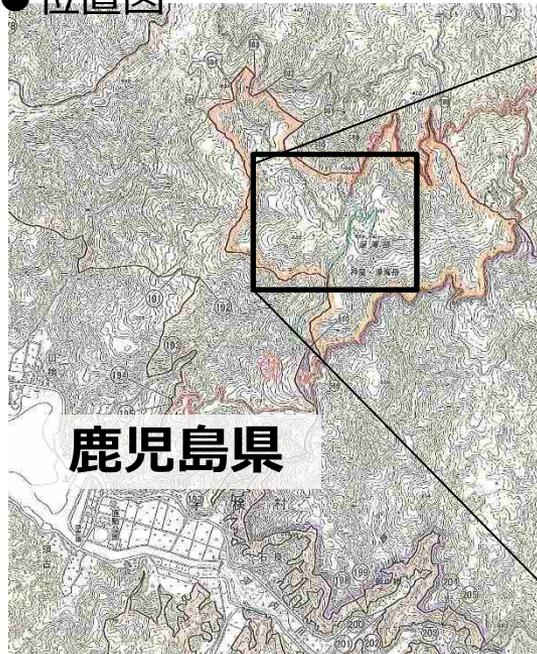
路線距離：2.2km

執行者（予定者）：

大和村、宇検村、環境省

特別保護地区、第2種特別地域（国有地、村有地）

●位置図



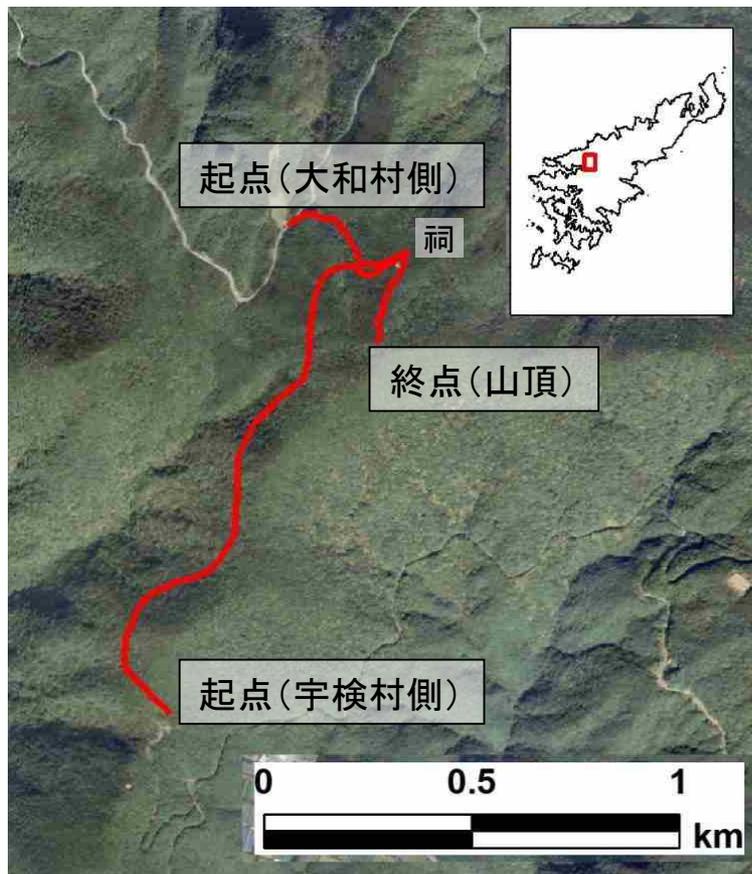
●公園計画図



歩道入口（大和村側）

- 湯湾岳は大和村と宇検村の境界付近に位置し、山頂は大和村有地となっている。湯湾岳園地（宇検村）もしくは林道田剣福元線（大和村）から山域に入ることができる。
- 湯湾岳は古くから霊峰としても崇められ、山頂手前に広場があり、お堂や祠がある。
- 本歩道周辺は、標高500～650mにあり、100年生以上の高齢照葉樹林と山頂付近の風衝低木林等からなり、奄美大島の中でも植物や昆虫などで固有種が多い核心的な地域である。

湯湾岳登山線道路（歩道）



事業規模

路線距離：2.2 km



- 本事業地は、大和村と宇検村によって歩道が整備されており、今回決定する範囲は、既存施設の範囲である。
- 大和村側の歩道は、延長400mあり、一部区間はボードウォークが整備されており、容易に山頂に到達することができる。
- 宇検村側の登山道は延長1800mあり、簡易な標識等が設置されているのみの自然性の高い歩道で利用者は少ない。

執行者（予定者）：大和村、宇検村、環境省

展望施設の整備（環境省）

- ・ 祠周辺の広場となっている一角の範囲で、保全を図りながら利用の満足度を高めるため、湯湾岳の森を一望できる展望施設を設置する。
- ・ 展望施設の高さは、森林の樹冠の高さより高くないように配慮する。
- ・ 整備と並行して適正利用のためのルールを検討する。



自然環境への影響

整備等を行う際は、周囲の風致景観との調和に留意し、土地の改変や支障木の伐採を必要最小限に抑える等、希少種の生息・生育地の保全上支障がないよう十分に配慮する。

やんばる国立公園 茅打バンタ園地

決定

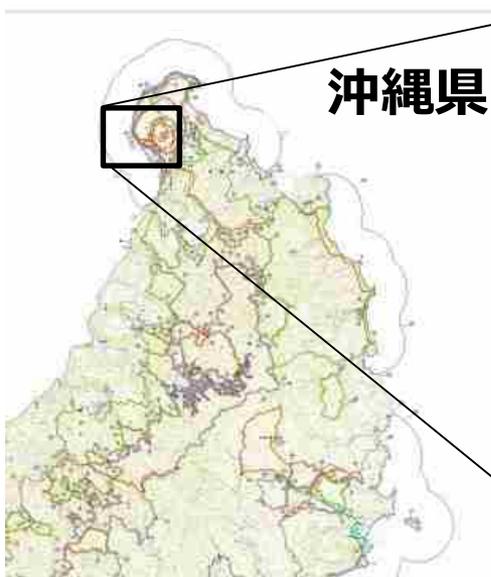
区域面積：0.8ha

執行者（予定者）：沖縄県

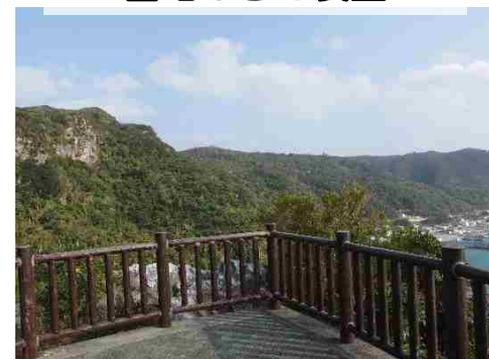
第2種特別地域（公有地（沖縄県））

●位置図

●公園計画図



園地からの展望



○やんばる国立公園の景観要素の一つである石灰岩地に位置し、断崖と海の礁斜面が織りなす風景を眺望できる。

○本園地は車によるアクセスが容易であり、また周辺には、宜名真園地（平成25年度利用者数60,000人）や辺戸園地（平成25年度入込客数約437,650人）などもあることから、本島北部の周遊ルートとして本園地の果たす役割は大きい。

茅打バンタ園地決定区域図



事業規模

区域面積：0.8 ha



園地からの展望



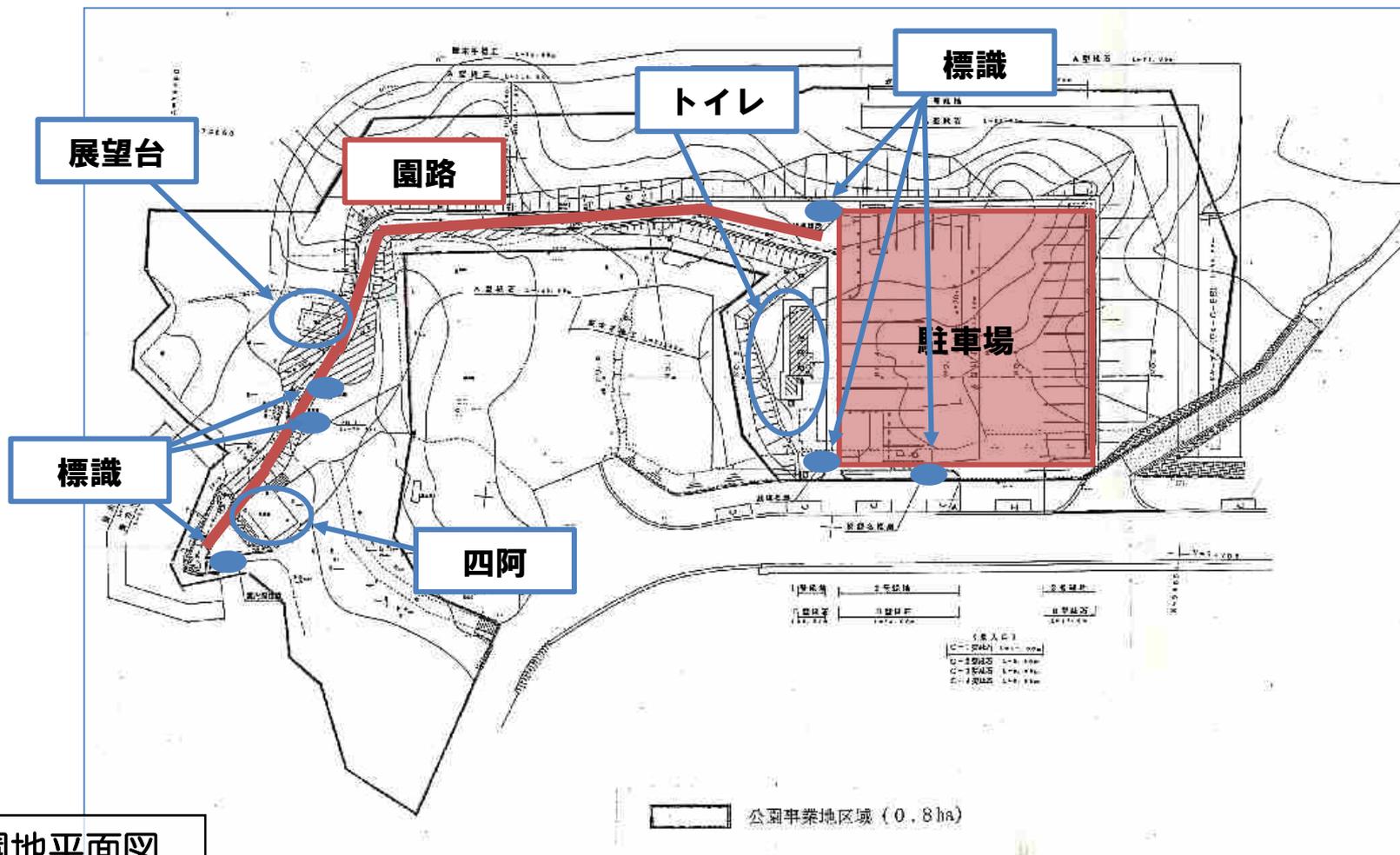
園路

○沖縄海岸国定公園時に整備されていた駐車場、トイレ、園路等の範囲について事業決定するもの。

既存施設の把握（駐車場、トイレ、園路）

執行者：沖縄県

- 沖縄海岸国定公園事業として、公園を安全かつ快適に利用するために必要な駐車場、トイレ、四阿等が整備されている。（沖縄県）



園地平面図

既存施設の把握（駐車場、トイレ、園路）

執行者：沖縄県

- 沖縄海岸国定公園事業として、公園を安全かつ快適に利用するために必要な駐車場、トイレ、四阿等が整備されている。（沖縄県）



駐車場



トイレ



四阿



標識



園路



標識

自然環境への影響

今回の事業決定は、既存施設の把握であり、周囲の自然環境へ与える影響はない。また、今後施設の長寿命化対策を予定しているが、大規模な土地の改変等は想定されず、周囲の自然環境へ与える影響は最小限であると考えられる。

慶良間諸島国立公園

照山園地

決定

区域面積：0.13ha

執行予定者：沖縄県

第3種特別地域（公有地（渡嘉敷村）、民有地）

●位置図

●公園計画図

沖縄県



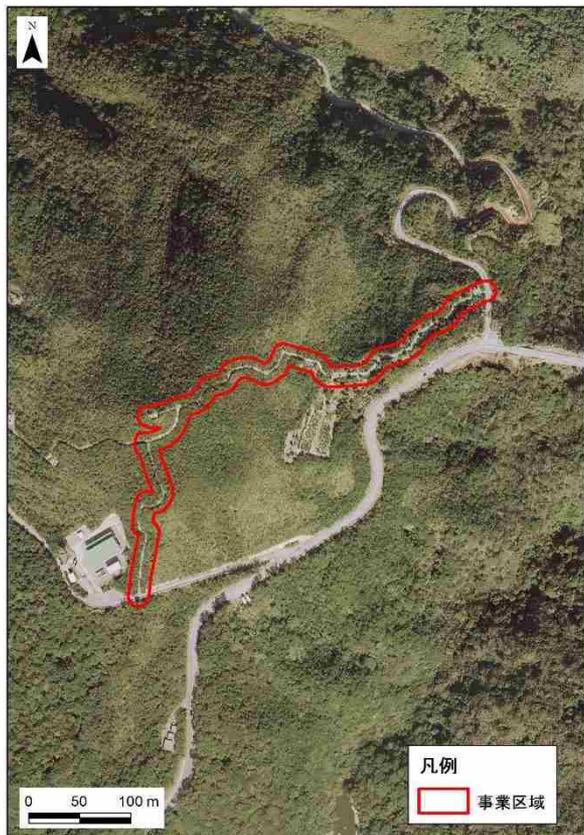
照山園地（展望デッキ）



照山園地
（展望デッキからの眺望）

渡嘉敷島の玄関である渡嘉敷地区から、利用拠点である阿波連地区をつなぐ県道沿いに位置する。照山の傾斜地にあり、頂上からは、丘陵地形に広がる森林、白い砂浜、ケラマブルーと称される海、多島海景観等を眺めることができる。主な利用形態は照山展望台からの展望、休憩、周辺の自然散策等。

照山園地決定区域図



事業規模

区域面積 : 0.13ha



園路



園路

沖縄海岸国定公園時に整備された照山山頂の展望デッキ、園路の入口に設置された公衆便所、車道から展望デッキに至る歩道の周辺を事業の決定区域として設定する。

既存施設の把握（展望デッキ、公衆便所、園路）

執行予定者：沖縄県

- 沖縄海岸国定公園事業として、公園を安全かつ快適に利用するために必要な展望デッキ、公衆便所、園路等が整備されている。（沖縄県）



展望デッキ



園路



公衆便所



標識の整備

執行予定者：沖縄県

- 必要な情報発信を行うため、多言語に対応した標識の整備を行う。（沖縄県）



【完成イメージ】

自然環境への影響

○新たに整備される標識は、すでに整備された土地に設置される予定であることから、新たな土地の改変や支障木の伐採は伴わず自然環境への影響は最小限である。



既存標識

国立公園満喫プロジェクトについて

- 慶良間諸島国立公園ステップアッププログラム2020に以下のとおり位置づけられている。
 - ・平成29年度より順次平成32年度までに、老朽化した既存施設について、標識の多言語化やトイレのユニバーサルデザイン化を中心に改修を行う。

慶良間諸島国立公園 チシ園地

決定

区域面積：0.1ha

執行者（予定）：沖縄県

特別保護地区、第2種特別地域（公有地（座間味村））

●位置図

沖縄県



●公園計画図



チシ園地（休憩所）



チシ園地（休憩所から）

座間味島の集落の一つである阿佐地区から約1.2kmに位置する。北方向にはサンゴ礁やその先に広がる海域、東西方向には100m程の海食断崖、崖上は樹高の低いリュウキュウマツやコウライシバ等で構成される風衝植生が見られる。主な利用形態は、チシ展望台（休憩所）からの展望、休憩、周辺の自然散策等。

チシ園地決定区域図



事業規模

区域面積 : 0.1ha



公衆便所
及び園路



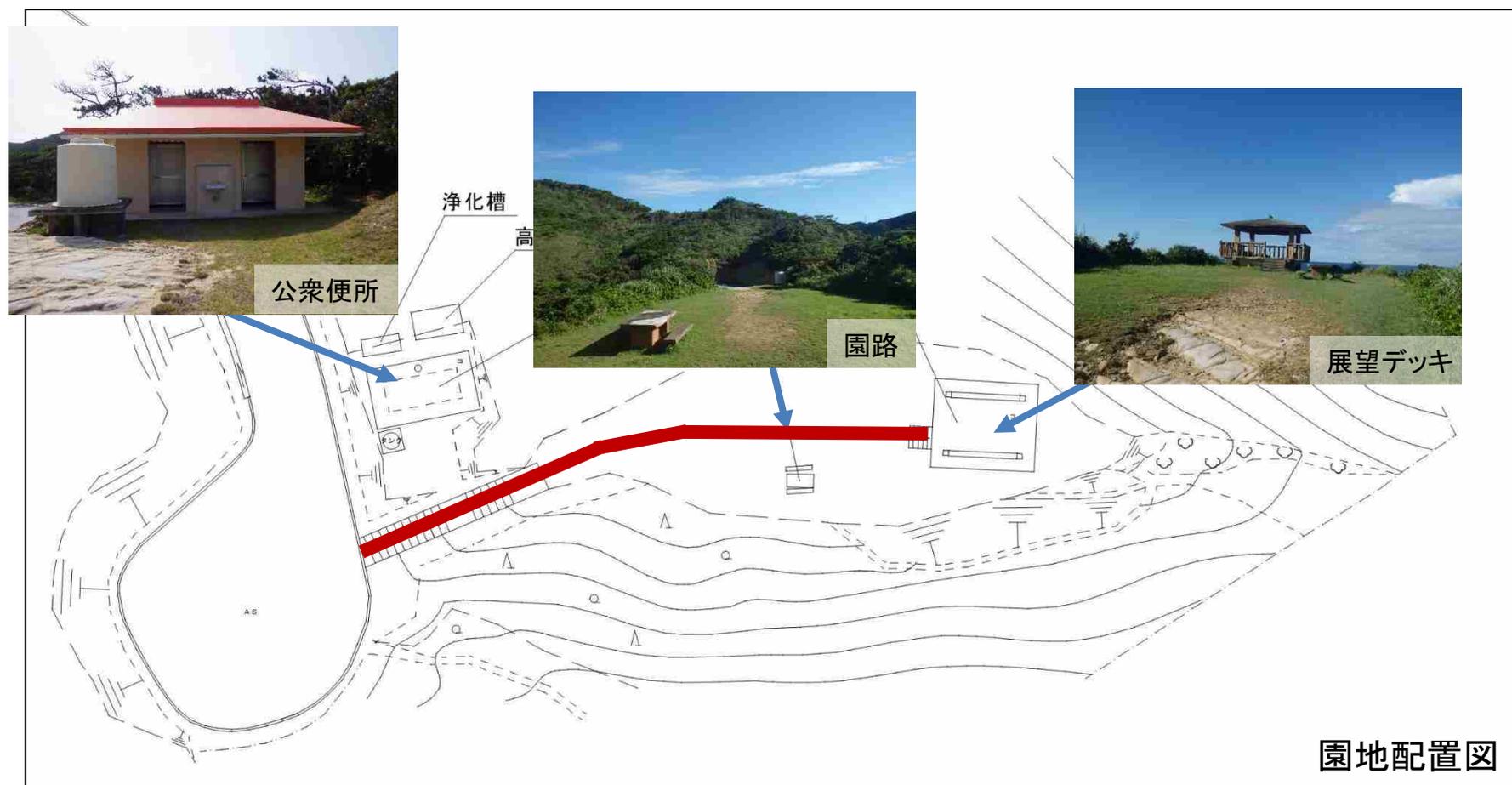
防護柵

○沖縄海岸国定公園時に整備された展望台（休憩所）、公衆便所、ベンチ、階段、防護柵、駐車場を事業区域として決定するもの。

既存施設の把握（休憩所、公衆便所、ベンチ等）

執行者（予定）：沖縄県

- 沖縄海岸国定公園事業として、公園を安全かつ快適に利用するために必要な休憩所、公衆便所、ベンチ等が整備されている。（沖縄県）



標識の整備

執行者（予定）：沖縄県

- 必要な情報発信を行うため、多言語に対応した標識の整備を行う。（沖縄県）



【環境イメージ】

自然環境への影響

○新たに整備される標識は、すでに整備された土地に設置される予定であることから、新たな土地の改変や支障木の伐採は伴わず自然環境への影響は最小限である。



チシ園地入口

国立公園満喫プロジェクトについて

○慶良間諸島国立公園ステップアッププログラム2020に以下のとおり位置づけられている。

p.24、32

- ・ビューポイントを中心にWi-fi環境、ユニバーサルデザイン化したトイレ、ITやAR（拡張現実）を用いた多言語に対応した解説板や標識の整備を行う。（環境省、沖縄県、渡嘉敷村、座間味村）

慶良間諸島国立公園

越原園地

決定

区域面積：0.1ha

執行予定者：沖縄県

第3種特別地域（民有地）

●位置図

沖縄県



●公園計画図



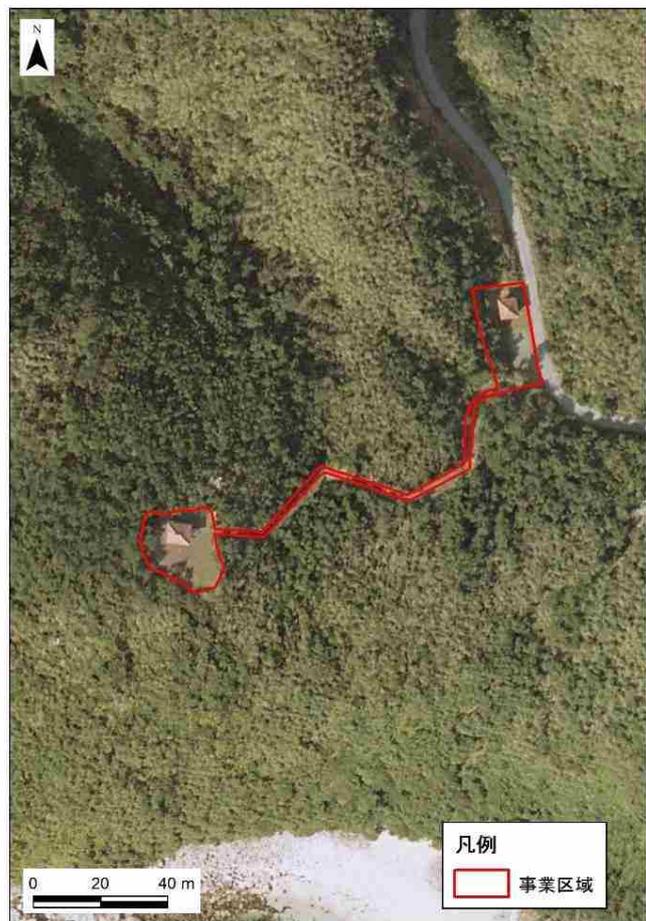
越原園地（休憩所）



越原園地

阿嘉島の唯一集落である阿嘉地区から約4.5kmに位置する。海食崖上にあり、阿嘉島中央の丘陵地形に広がる森林、海岸線の海食地形、外洋方向には久場島等が見られる。主な利用形態は、クシバル展望台（休憩所）からの展望、休憩、周辺の自然散策等。

事業規模 区域面積：0.1ha

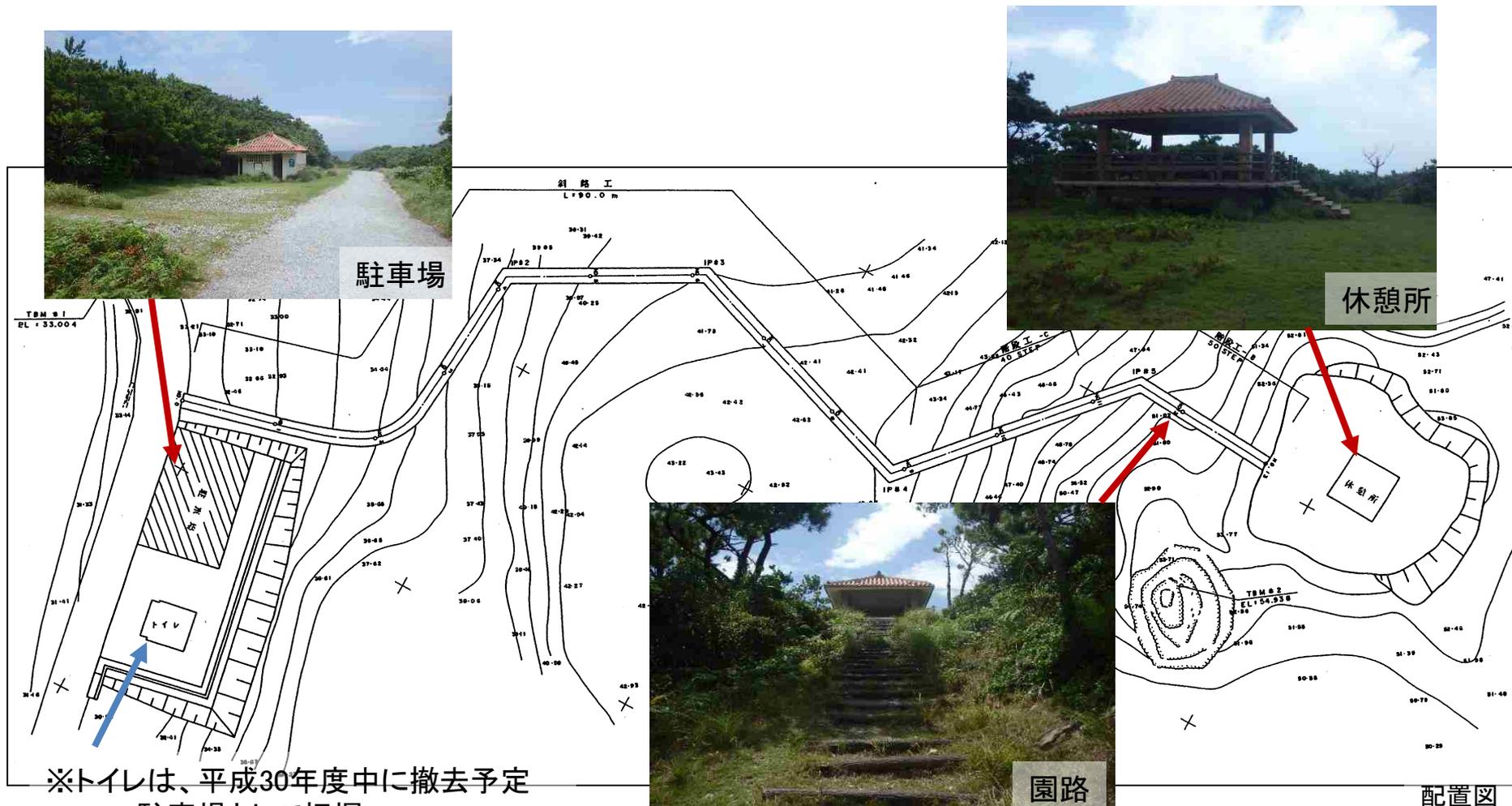


沖縄海岸国定公園時に整備された展望台（休憩所）、園路、駐車場を含めて事業区域を設定する。

既存施設の把握（休憩所、駐車場等）

執行予定者：沖縄県

- 沖縄海岸国定公園事業として、公園を安全かつ快適に利用するために必要な休憩所、公衆便所、歩道等が整備されている。（沖縄県）



※トイレは、平成30年度中に撤去予定
→ 駐車場として把握

配置図

標識の再整備

執行予定者：沖縄県

- 必要な情報発信を行うため、多言語に対応した標識の整備を行う。（沖縄県）



【写真イメージ】

自然環境への影響

○新たに整備される標識は、すでに整備された土地に設置される予定であることから、新たな土地の改変や支障木の伐採は伴わず自然環境への影響は最小限である。

国立公園満喫プロジェクトについて

- 慶良間諸島国立公園ステップアッププログラム2020に以下のとおり位置づけられている。
 - ・ビューポイントを中心にWi-fi環境、ユニバーサルデザイン化したトイレ、ITやAR（拡張現実）を用いた多言語に対応した解説板や標識の整備を行う。（環境省、沖縄県、渡嘉敷村、座間味村）